

高松市立国分寺南部小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自ら学ぶ意欲と豊かな感性をもち、未来を創る国南小の子ども

【本校の課題】

- 平成28年度の1～5年生（現2～6年生）において、男女とも、多くの学年で多数の項目が、県・全国平均を下回っている。現4年生は数項目を除いて平均を下回っている。
- 月曜日に、欠席者数が増加する傾向にある。

【現状】

昼休みには外で遊ぶ児童の姿をたくさん見ることができるが、20分間の休み時間には女子があまり外に出ていない。また、朝の始業前や休み時間に行っている運動はドッジボール中心で、多様な動きを経験できていない。

体育の授業においては、学年団で合同体育を設定しているが、領域によっては運動回数や運動時間の確保が難しい領域があり、柔軟に対応したり工夫したりする必要がある。

【取組】

教科体育の時間に

運動量を確保し、効果的な場を設定するために合同体育を効果的に活用する。
また、授業後の学年団でふり返りの時間を持ち、次回に向けて授業改善する。

休み時間をしっかり遊ぶ時間に

「みなみの日」は、昼休みの時間が長い遊ぶ日と設定する。また、マイ・スタディのある火曜日は掃除なしの昼休みとし、遊ぶ時間を確保する。今年度から各学級へのボール貸し出し数を2個に増やしている。

ゲーム領域(タグラグビー)を1校1運動に

昨年度に引き続いて、タグラグビーを1校1運動にする。校内の研究授業で体育科の授業実践を行い、どの領域にも共通する効果的な場の設定や教具の開発についても全教職員の理解を深める

放課後の運動クラブの充実

1学期は水泳、2学期は陸上、3学期はタグラグビーに取り組む。特に、オフシーズンになる冬場に、運動量が多く、かつ多様な動きのあるタグラグビー部をつくり、高学年の希望する児童が参加する。

クラスマッチ種目の厳選

昨年度新設した球技クラスマッチに今年度も取り組む。昨年度の反省から練習の時間や機会の効率化を図るため、器械運動は強化月間として準備の支援は行うが、クラスマッチとしての設定から外す。

【目標】

- 新体力テストの結果で県・全国平均並み以上の項目数がH28年度(26項目)を越える。
- 休み時間に運動場で遊ぶ児童の割合がH28年度よりも増える。
- 欠席者数が全校児童数の1%以下の日が40日以上になるようにする。
- 放課後の運動クラブを魅力ある活動にし、参加児童数が対象者数の50%を越える。